

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。
旧年中は、大変お世話になりました。本年も、宜しくお願い申し上げます。

昨年は、世界情勢における地政学的な緊張が高まる中、日本経済は緩やかながらも回復を続けました。特に企業業績は過去最高益を更新する企業が多く見られるなど堅調でした。これを背景として東京証券取引所の株価指数が26年ぶりにバブル崩壊後の高値を更新するなど、エポックメイキングな年であったと言えます。債券市場も、日本銀行のマイナス金利政策による低金利が続く中、一昨年に引き続き昨年も活況を呈しました。

そうした中 JCR は、普通社債の他、得意とするハイブリッド商品、プロジェクトファイナンスなど多くの金融商品に格付を提供してまいりました。また、グリーンボンドに対する第三者評価サービスの提供開始、欧州金融機関の TLAC・劣後債の見方に関するセミナーの開催など、時宜を捉えながら積極的にマーケットのニーズに合わせて業務領域を拡大、推進しております。

また、グローバル化推進の方針の下、4月にマレーシアの格付機関 Malaysian Rating Corporation Berhad (MARC)、9月にペルー共和国の格付機関 Accuratio Credit Rating Agency ECR S.A. との間で、それぞれ業務協力協定を締結し、新たな戦略的パートナーを加えることで、JCR のグローバルネットワークを一層充実させました。

JCR は現状にとどまることなく、本年も国内外の発行体・投資家の皆様のためのサービスの高度化、充実を図り、これまで以上に金融市場に貢献してまいります。

本年も、JCR をよろしくお願い申し上げます。

平成30年1月4日
株式会社日本格付研究所 代表取締役社長
高木 祥吉